

参考情報として、本書記載の1日量記載の「処方例」に関し、1回量と1日量を併記したもの(1日量は()内に記載)を下記に示します。

p. 25 ■処方例1: 80歳男性

トリアゾラム錠 0.25 mg 1回2錠 (1日2錠)
1日1回 就寝前 14日分

■処方例2: 50歳男性

アカルボース錠 100 mg 1回1錠 (1日3錠)
1日3回 朝昼夕食後 14日分

p. 27 ■処方例: 内科, 30歳男性

フルルビプロフェン 40 mg 1回1錠 (1日3錠)
ロメフロキサシン 100 mg —— 1回1カプセル (1日3カプセル)
→ セフジニル 100mg 1回1カプセル (1日3カプセル)
1日3回 朝昼夕食後 3日分

p. 48 図2・10の「処方」

1) アムロジピン (ノルバスク錠 5 mg) 1回1錠 (1日1錠)
 フロセミド (ラシックス錠 20 mg) 1回1錠 (1日1錠)
 1日1回 朝食後 7日分
2) バラシクロビル塩酸塩
 (バルトレックス錠 500 mg) 1回2錠 (1日6錠)
 1日3回 朝昼夕食後 7日分
3) トリアゾラム (ハルシオン錠 0.25 mg) 1回1錠
 不眠時 5回分
 以下 余白

p. 50 ■処方例

1) プレドニゾロン (プレドニゾロン錠 5 mg) 1回2錠 (1日2錠)
 1日1回 朝食後 7日分
 プレドニゾロン (プレドニゾロン錠 5 mg) 1回1錠 (1日1錠)
 1日1回 昼食後 7日分
2) ニフェジピン (アダラートL錠 20 mg) 1回1錠 (1日2錠)
 1日2回 朝夕食後 7日分

p.53 ■処方例：小児科，4歳

ワルファリンカリウム（ワーファリン錠1mg） 1回0.6錠（1日0.6錠）（粉碎）
1日1回 朝食後服用 7日分
1包が0.3gになるように乳糖で賦形する。

p.55 ■処方例：内科（入院），67歳（嚥下能力低下のためマーゲンチューブ使用）

ピモベンダン（アカルディカプセル2.5mg） 1回1カプセル（1日2カプセル）
1日2回 朝夕食後 3日分

p.58 ■処方例

1) アムロジピン（ノルバスク錠5mg） 1回1錠（1日1錠）
フロセミド（ラシックス錠20mg） 1回1錠（1日1錠）
1日1回 朝食後 7日分
2) パラシクロビル塩酸塩（バルトレックス錠500mg） 1回2錠（1日6錠）
1日3回 朝昼夕食後 7日分
3) トリアゾラム（ハルシオン錠0.25mg） 1回1錠
不眠時 5回分

p.64 ■薬物相互作用が問題（併用禁忌）となる処方例：55歳女性（体表面積：1.4m²）

1) ワルファリンカリウム（ワーファリン顆粒0.2%）1回2mg（1日2mg）【原薬量】
1日1回 朝食後 21日分
2) カペシタビン（ゼローダ錠300mg） 1回6錠（1日12錠）
1日2回 朝夕食後 14日分

■処方例1（成分量での記載）：25歳女性

1) バルプロ酸ナトリウム（セレンカR顆粒40%）1回500mg（1日500mg）【原薬量】
1日1回 夕食後 30日

■処方例2（製剤量での記載+賦形）：60歳女性

1) ベタネコール塩化物（ベサコリン散5%） 1回0.267g（1日0.8g）
乳糖 1回0.233g（1日0.7g）
1日3回 朝昼夕食後 7日

p.85 ■処方例：小児科，4歳男児，急性気管支炎に伴う喘鳴の改善と去痰

サルブタモール硫酸塩（ベネトリンシロップ0.04%）1回1.47mg（1日4.4mg）【原薬量】
ブロムヘキシン塩酸塩（ビソルボンシロップ0.08%）1回1.33mg（1日4.0mg）【原薬量】
1日3回 朝昼夕食後 3日分